

令和6年9月20日
気象庁地震火山部

配信資料に関するお知らせ

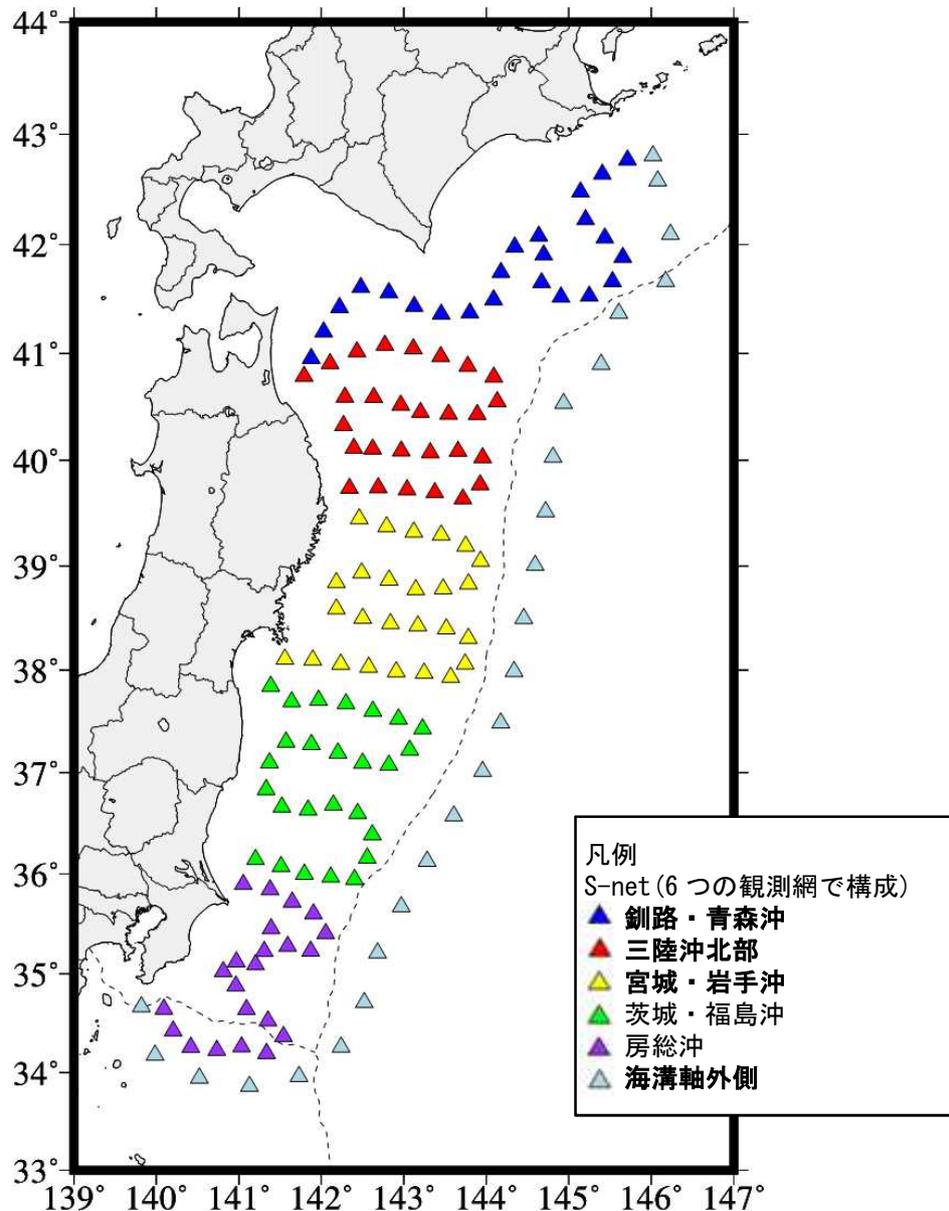
日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) のメンテナンスに伴う
緊急地震速報への影響について

気象庁は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の協力を得て、同研究所が運用管理している日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) の観測データを緊急地震速報や津波警報等の発表に活用しています。

今般、同研究所により、令和6年9月から11月にかけてS-netのメンテナンスが順次実施される予定です（詳細は別紙1参照）。これに伴い、メンテナンス予定期間中は、当該観測点のデータを緊急地震速報の発表に活用できなくなります。当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で15秒程度遅くなる可能性があります（別紙2参照）。

なお、緊急地震速報以外の地震情報や津波警報等の発表までにかかる時間及びその内容に影響はありません。

日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) の配置図



メンテナンス作業により、以下の期日の09時40分～16時50分の間、緊急地震速報の発表に遅れが生じる可能性があります。

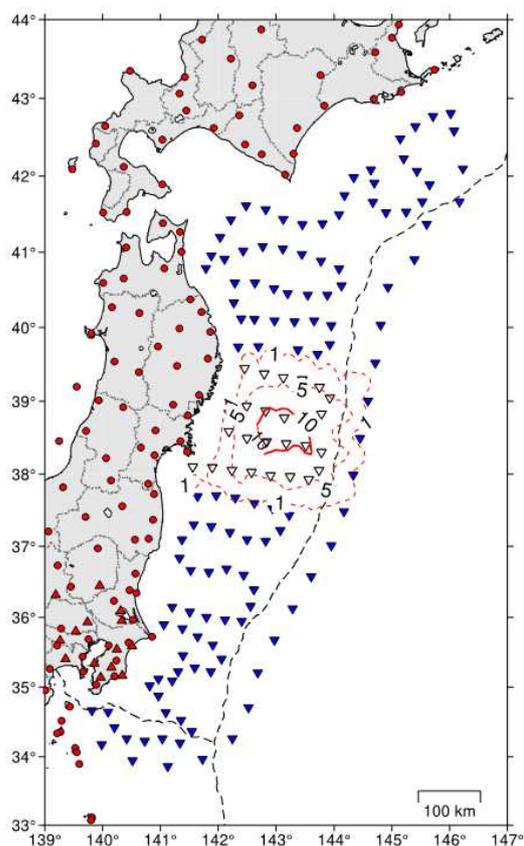
- ①宮城・岩手沖 (▲) 9月24日、25日
- ②三陸沖北部 (▲) 10月7日、8日
- ③海溝軸外側 (▲) 11月5日、6日
- ④釧路・青森沖 (▲) 11月18日、19日

※メンテナンス作業の日程については、作業の状況により変更となる可能性があります。

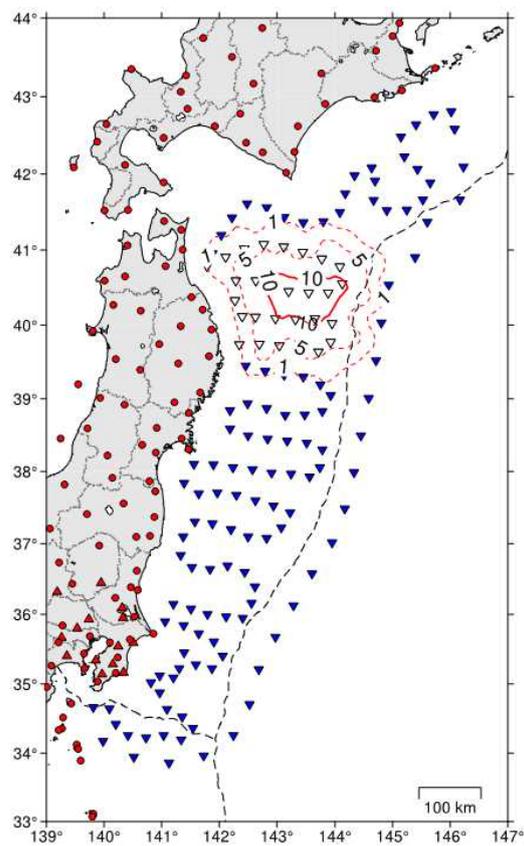
日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) のメンテナンスに伴う 緊急地震速報への影響について

当該海域には、国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用管理している日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) (下図：▼及び▽) が設置されており、この観測データを緊急地震速報の発表に利活用しています。

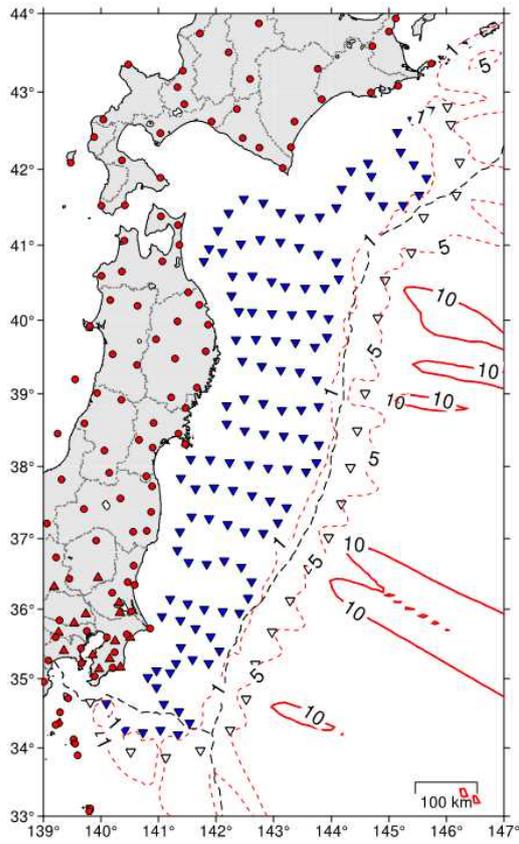
以下の図中に赤で示した等値線は、日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) のメンテナンスにより該当する観測データ (下図：▽) について緊急地震速報への活用を停止した場合、緊急地震速報の発表が通常よりどの程度遅れるかを秒数で表したものです。



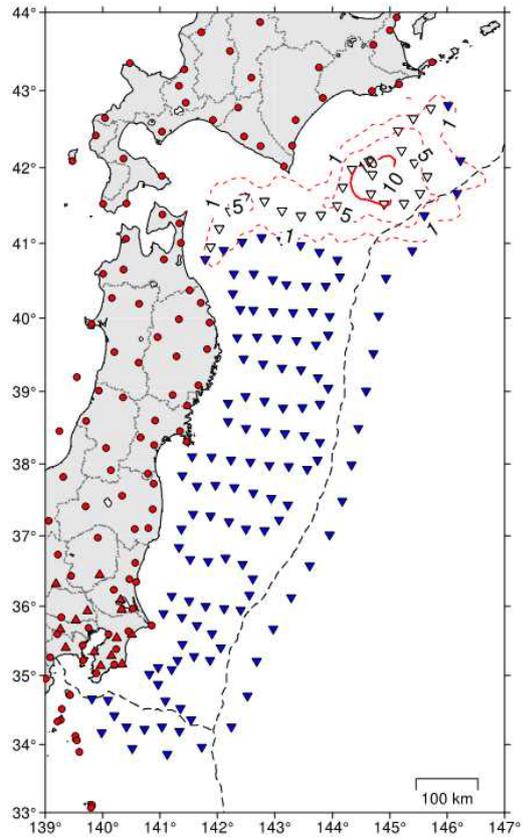
①岩手・宮城沖のメンテナンス中



②三陸沖北部のメンテナンス中



③海溝軸外側のメンテナンス中



④釧路・青森沖のメンテナンス中